

令和5年12月14日

## 豊野小学校でセブン-イレブン・ジャパン エスディージーズ によるSDGsの出張授業が行われました

春日部市は、株式会社セブン-イレブン・ジャパン(以下セブン-イレブン)と包括的連携協定を締結しており、その活動の一環として、市内初となる出張授業を12月8日に豊野小学校で6年生の児童を対象に実施しました。

今回の出張授業ではセブン-イレブンのSDGsの取り組みについて、食品ロスを中心に学びました。セブン-イレブンでは、食品ロスの削減に向けて、主に「情報を集めて販売予測を立てる」「おいしく安全に消費期限をのばす」「食品リサイクル」「規格外野菜の活用」の四つに取り組んでおり、クイズを交えながら、6年生の児童に分かりやすく説明しました。

また、セブン-イレブンの活動のうち、買い物支援の取り組みにも触れ、埼玉県内に6台(11月末時点)しかない移動販売車「セブンあんしんお届け便」を見学しました。

6年生の児童は、今回の出張授業を通し、SDGsを身近に感じることで、自分たちにもできることを一緒に考える機会となりました。



写真:左上と右上…SDGsの授業の様子

左下…移動販売車「セブンあんしんお届け便」  
の見学の様子



### 問い合わせ先

総合政策部 政策企画課

担当：池田・鍋島 内線 2117